

臨床研究に関する情報公開

福島県立医科大学附属病院高度救命救急センターでは、本学倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 26 年 4 月 福島県立医科大学附属病院高度救命救急センター主任

【研究課題名】

救命救急センターにおける早期リハビリテーションプログラム導入による患者への影響

【研究機関】

平成 26 年 4 月～平成 28 年 10 月

【研究の意義・目的】

私たちは、早期リハビリテーションで患者様が一日も早く回復されますよう、3 年ほど前から本格的に早期リハビリテーションへの取り組みと研究に取り組んでいます。早期リハビリテーションとは、理学療法士が行うリハビリテーションだけではなく、入院直後から患者様の状態に応じて体をよい姿勢に維持したり、食事や清潔行動などの日常生活の動作を活用して体の動きを促すなど、様々な行動から患者様が入院前の状態にできる限り近づけるよう、医療スタッフ全員で働きかけをすることだと考えています。今回、早期リハビリテーションの取り組みの結果、患者様にどのような効果が現れているのか調査させていただくことで、患者様に本当に必要な援助ができているのか明らかにしたいと考えています。

【研究の方法】

・早期リハビリテーション導入前の 2010 年 9 月から 2011 年 2 月までの間に当院救命救急センターに入室し、3 日間以上人工呼吸器が装着された患者様約 50 人の方を対象にいたします。ただし、特殊性を考慮し、循環器疾患の患者様、小児患者様は対象から除きます。

・調査項目は、以下のとおりです。

年齢、性別、病名、救命救急センター入室期間、転機、重症度

特殊治療、手術やアンギオの有無

挿管・非挿管の別、人工呼吸の種類、人工呼吸期間、再挿管の有無

意識レベル、鎮静の深さ、痛みのレベル 鎮静剤・鎮痛剤の種類

リハビリプログラムによるリハビリのレベル

ポジショニングの内容とその経過

離床時の呼吸、循環などの変化の有無

日常生活動作

リハビリ指示 栄養投与経路（経静脈、経腸栄養など） 血液ガス検査結果

・上記の調査内容を患者様のカルテから調査し、現在入院し早期リハビリテーションの取り組みを実施されている患者様との比較検討を行います。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者 高度救命救急センター 看護師長 渡部智恵子
主任研究者 高度救命救急センター 主任看護技師 武藤博子
研究分担者 高度救命救急センター 主任看護技師 武田嘉子

【人体から採取された試料等の利用について】

該当なし

【他の機関等への試料の提供について】

該当なし

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、被験者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用呈し及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書等の交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

【本県球に関する問合せ先】

○研究内容に関する問合せの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学附属病院 高度救命救急センター 担当 武藤博子
電話：024-547-1785
E-mail：n-hiroko@fmu.ac.jp

○個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学 総務課 大学管理係
電話：024-547-1007 FAX：024-547-1995

○その他ご意見の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学 研究推進課 研究支援担当
電話：024-547-1825 FAX：024-547-1991
E-mail：rs@fmu.ac.jp